

基本目標7 「大胆素敵・躍動とくしま」の実現

【重点戦略1】

「大胆素敵とくしま」世界戦略の展開

主要事業実施工程表（7-1 「大胆素敵とくしま」世界戦略の展開）

主要施策・主要事業の概要・数値目標	工程（年度別事業計画）				
	H27	H28	H29	H30	
1 「ゲートウェイとくしま」の推進（長期：3，中期：V-1②）					
主要指標 ○「クルーズ来県者数」 <u>15,000人</u>					
● 観光消費の拡大や地域振興に大きな効果が見込まれる「大型外国クルーズ客船」の徳島小松島港への初寄港を実現させるとともに、徳島小松島港への国内外クルーズ客船の寄港を継続・拡大させるため、広域連携等による積極的な誘致活動や受入態勢の充実強化に取り組み、クルーズ来県者数の拡大を図ります。＜県土＞ ○「クルーズ来県者数」 ②⑤約2,800人→③⑩15,000人 ○「大型クルーズ客船」の初寄港 ②⑦初寄港	推進	4,500人	4,900人	11,700人	15,000人
● 「徳島阿波おどり空港」の利用拡大を図るため、エアポートセールスを推進し、航空路線の新規開設を図るとともに、徳島を発着する航空路線の利便性向上、国際ターミナル機能の創設、新規需要の創出を推進します。（再掲） ＜県土＞ ○「徳島阿波おどり空港」の就航路線 ②⑤東京線1日12往復、福岡線1日2往復 →③⑩維持・拡大 ○「国際チャーター便」の就航都市数（累計） ②⑤→③⑩2都市 ○「国際ターミナル機能」の創設 ②⑨供用開始	推進			1都市	2都市
● 本県の産業振興と地域活性化を図るため、国際貿易の拠点である「徳島小松島港コンテナターミナル」の利用を促進する各種のより効果的な「貿易振興策」を実施し、新規航路の開設に取り組みます。＜県土＞ ○コンテナ貨物取扱量 ②⑤12,450TEU※→③⑩17,000TEU ○中国・東南アジア航路の開設 ②⑩開設	推進	13,500 TEU	15,000 TEU	16,500 TEU	17,000 TEU

主要事業実施工程表（7-1 「大胆素敵とくしま」世界戦略の展開）

主要施策・主要事業の概要・数値目標	工程（年度別事業計画）			
	H27	H28	H29	H30
<p>● 徳島小松島港沖洲（外）地区複合一貫輸送ターミナルの供用に向けた関連施設整備を推進するとともに、「港内の静穏」と「船舶航行の安全」の向上を図るため、防波堤の延伸整備を促進します。＜県土＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○複合一貫輸送ターミナルの整備 <ul style="list-style-type: none"> ㉕工事施工中→㉗供用 ○防波堤の延伸整備 <ul style="list-style-type: none"> ㉗着手→㉙工事促進中（㉚完成） 	促進			→
<p>2 「おもてなしの国とくしま」魅力向上の推進（長期：3、中期：V-1②）</p> <p>主要指標 ○県内への外国人延べ宿泊者数 80,000人</p>				
<p>● 重点エリアである東アジア・東南アジアに加えて、欧米も誘客の対象とし、海外と徳島阿波おどり空港間のチャーター便の誘致をはじめ、関西広域連合・せとうち観光推進機構・四国ツーリズム創造機構等と連携した広域観光の推進、徳島の魅力を活かした団体旅行及び個人旅行、教育旅行、医療観光など多様な外国人観光誘客を推進します。＜商工＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○県内への外国人延べ宿泊者数 <ul style="list-style-type: none"> ㉕32,310人→㉙80,000人 ○関西広域連合との連携によるミラノ万博出展期間 <ul style="list-style-type: none"> ㉗20日間出展 ○関西広域連合と連携した ムスリム旅行者向けウェブサイトの構築 <ul style="list-style-type: none"> ㉗構築 	推進			→
	5万人	6万人	7万人	8万人
	20日間出展			
<p>● 「にし阿波～剣山・吉野川観光圏」として、「桃源郷のような別世界」と称される高地傾斜地集落の景観や暮らしなど地域独自の強みを活かし、アジアはもとより、米豪欧（アメリカ、オーストラリア、フランス、ドイツ）でも、官民連携によるプロモーションを展開するとともに、外国人観光客受入の核となるDMOの構築や広域観光周遊ルートの推進等に取り組み、外国人観光客の増加を促進します。＜西部＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「にし阿波」における外国人延べ宿泊者数（再掲） <ul style="list-style-type: none"> ㉕4,880人→㉙24,000人 ○アメリカ、オーストラリア、フランス、ドイツでのプロモーションの展開 <ul style="list-style-type: none"> ㉕→㉗～㉙展開 	促進			→
	7,700人	11,000人	21,000人	24,000人

主要事業実施工程表（7-1 「大胆素敵とくしま」世界戦略の展開）

主要施策・主要事業の概要・数値目標	工程（年度別事業計画）			
	H27	H28	H29	H30
<p>● 外国人向けの観光案内所の運営による情報提供や多言語表記の促進など、外国人観光客の受入環境の充実を図ります。＜政策・商工＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○県が整備・補助した 無料公衆無線LANアクセスポイント数 ②⑤→③⑦00アクセスポイント ○外国語サポートデスクの設置 ②⑦設置 ○個人旅行者対応「多言語・多機能アプリ」の開発 ②⑦開発 ○善意通訳組織「徳島GGクラブ」会員数 ②⑤→③⑩100人 	<p>推進</p> <p>340 アクセス ポイント</p>	<p>640 アクセス ポイント</p>	<p>670 アクセス ポイント</p> <p>90人</p>	<p>700 アクセス ポイント</p> <p>100人</p>
<p>● 県西部圏域を災害に強い観光地域とするため、異常気象時や災害発生時における観光客への適切な対応や復興に係る計画「にし阿波観光危機管理マニュアル」の策定に取り組みます。＜西部＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「にし阿波観光危機管理マニュアル」の策定 ②⑩策定 		<p>策定</p>	<p>推進</p>	
<p>● 観光地の魅力を向上させるため、主要幹線道路の整備によるアクセス向上に加え、国内外からの観光客が安心して楽しく訪問できる案内標識の整備等、観光地の魅力を向上させる新たな施策を推進します。＜県土＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○外国人にも分かりやすい 観光案内標識の設置基数（累計） ②⑤→③⑩40基 ○にし阿波～剣山・吉野川観光圏の アクセスルートの整備箇所数（累計） ②⑤5箇所→③⑩19箇所 ○本四道路と連携したイベントの実施 ②⑤2回→②⑦～③⑩年間2回 ○既存の「道の駅」のサービス機能強化箇所数（累計） ②⑤→③⑩10箇所 	<p>推進</p> <p>10基</p> <p>12箇所</p> <p>2回</p> <p>2箇所</p>	<p>20基</p> <p>15箇所</p> <p>2回</p> <p>5箇所</p>	<p>30基</p> <p>17箇所</p> <p>2回</p> <p>7箇所</p>	<p>40基</p> <p>19箇所</p> <p>2回</p> <p>10箇所</p>
<p>● 県西部圏域の交流人口を増やし地域活性化を図るため、剣山登山や集落めぐり、吉野川八合霧鑑賞など、にし阿波ならではの体験ができる着地型旅行商品や滞在プログラムの開発を促進します。＜西部＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○着地型旅行商品（滞在プログラムを含む）の参加者数 ②⑤305人→③⑩600人 ○にし阿波体感プログラムイベント参加者数 ②⑤801人→②⑦～③⑩年間1,000人以上 	<p>促進</p> <p>450人</p> <p>1,000人</p>	<p>500人</p> <p>1,000人</p>	<p>550人</p> <p>1,000人</p>	<p>600人</p> <p>1,000人</p>
<p>● 先進的な医療サービスの提供と豊富な観光資源や地域食材を組み合わせた医療観光（メディカルツーリズム）を推進します。＜商工＞</p>	<p>推進</p>			

基本目標7 「大胆素敵・躍動とくしま」の実現

【重点戦略2】

湧き上がる「にぎわいと感動」渦の創造

主要事業実施工程表（7-2 湧き上がる「にぎわいと感動」渦の創造）

主要施策・主要事業の概要・数値目標	工程（年度別事業計画）				
	H27	H28	H29	H30	
1 「ときめく♥とくしま」観光誘客戦略の展開（長期：3、中期：V-1②）					
主要指標 ○年間の延べ宿泊者数 300万人					
<ul style="list-style-type: none"> ●「おどる宝島！パスポート」をはじめとする誘客コンテンツの整備、効果的な魅力発信や旅行商品の造成促進等による「観光目的客の取り込み」、コンベンション誘致促進による「ビジネス目的客の取り込み」、「東京オリンピック・パラリンピック」等を見据えた「『訪日外国人400万人時代』に向けた取組み」を核とする「徳島県観光振興基本計画（第2期）」に基づく戦略的な取組みを推進することにより、観光関連事業者との連携など、官民を挙げた観光誘客を促進します。＜商工＞ <ul style="list-style-type: none"> ○年間の延べ宿泊者数 ⑤226万人→⑩300万人 	推進				
<ul style="list-style-type: none"> ●付加価値の高い農林水産物や6次化商品、伝統工芸品から特に優れたものを、新たな「とくしま特選ブランド“100選”」に選定するとともに、その魅力や品質を磨き上げてプレミアム化を図り、食と阿波文化の融合により、国内外に強かにアピールします。また、海外アンテナショップを新たに設置し、海外でのフェアや商談会を通じて、「とくしま特選ブランド」の海外市場販路開拓を支援します。＜商工・農林＞ <ul style="list-style-type: none"> ○選定数（再掲） ⑤57品→⑩100品 ○海外でのフェアや商談会への年間参加事業者数 ⑤23事業者→⑩70事業者 	推進				
<ul style="list-style-type: none"> ●「おどる宝島！パスポート」の充実強化や地元ならではの観光、体験、食などを組み合わせた着地型旅行商品の造成を推進することにより、県内における観光客の周遊と宿泊、リピーター来県を促進します。＜商工＞ <ul style="list-style-type: none"> ○「おどる宝島！パスポート」の発行数（累計） ⑤2万冊→⑩20万冊 	推進				
		260万人	270万人	285万人	300万人
		70品	80品	90品	100品
		35事業者	45事業者	55事業者	70事業者
		10万冊	14万冊	17万冊	20万冊

主要事業実施工程表（7-2 湧き上がる「にぎわいと感動」渦の創造）

主要施策・主要事業の概要・数値目標	工程（年度別事業計画）			
	H27	H28	H29	H30
<p>● 本県の持つ豊かな自然や食材、伝承された知恵や技術、個性ある郷土芸能など、本県ならではの地域資源を活用した体験メニューを磨きあげていくとともに、教育旅行の受入拡大を支援することで、県民参加型の観光客誘致を推進します。＜商工＞</p> <p>○体験型教育旅行における 延べ受入泊数（協議会受入） ②⑤ 6,46泊→③⑦ 7,000泊</p>	推進			→
<p>● 四国4県が連携して四国のグリーン・ツーリズムを推進するとともに、インターネットを活用したグリーン・ツーリズムのPRを展開し、徳島の農山漁村への入り込み客数の増加を図り、活気あるむらづくりを進めます。（再掲）</p> <p>＜農林＞</p> <p>○とくしま農林漁家民宿数（累計） ②⑤ 30軒→③⑦ 40軒</p> <p>○とくしま農林漁家民宿等の体験宿泊者数 ②⑤ 1,780人→③⑦ 2,200人</p>	推進			→
<p>● 国内外に向けて本県の物産・観光の情報発信を推進するため、県の「大阪・名古屋物産センター」や、「コンビニ型アンテナショップ」のさらなる展開を促進するとともに、全国初となるアニメとコラボレーションした店舗のアンテナショップ認定をはじめ、県外の民間店舗を「阿波とくしまアンテナショップ」として認定し、活用することで効果的な情報発信に努め、県産品の販路拡大・販売促進を図ります。＜商工＞</p> <p>○マチ★アソビ・サテライトショップ数 ②⑤ 1→③⑦ 3拠点</p>	推進			→
<p>● 県内企業の海外販路開拓・海外展開を支援するため、東アジア・東南アジアを重点エリアとする「とくしまグローバル戦略」に基づき、上海事務所を前線基地として活用し、商談機会の拡大や海外企業と本県企業との交流を推進します。（再掲）＜商工＞</p> <p>○商談会・フェア等延べ参加企業数 ②⑤ 79社→③⑦ 100社</p>	推進			→
<p>● 映像を通じて徳島の魅力を発信するため、徳島を舞台にした映画やドラマ等のロケを誘致・支援します。＜商工＞</p> <p>○ロケ支援件数 ②⑤ 14件→③⑦ 25件</p>	推進			→
<p>● 「関西の台所」を担う「食の宝島」であり、「体験型観光の先進地」でもある徳島ならではの魅力を「観光とくしまブランド」として確立し、多くの観光客に選ばれる徳島を目指して、マスメディアをはじめ、SNSを活用した情報発信や海外におけるプロモーションを展開することにより、広く国内外に向けた認知度の向上を図ります。＜商工＞</p> <p>○観光情報サイトアクセス件数 ②⑤ 70万件→③⑦ 90万件</p>	推進			→

主要事業実施工程表（7-2 湧き上がる「にぎわいと感動」渦の創造）

主要施策・主要事業の概要・数値目標	工程（年度別事業計画）			
	H27	H28	H29	H30
<p>● 吉野川を今後さらに輝かせ、全国へ誇れる「徳島ならではの」の魅力あるブランドとするため、「恵みの宝庫“吉野川”創造プロジェクト」により、吉野川における新たな観光資源の創出や吉野川の歴史・文化・環境に関する講座の開催などに取り組みます。＜県土＞</p> <p>○講座の受講者数 ②⑤76人→②⑦～③①年間100人以上</p>	推進 100人	100人	100人	100人
<p>● 県南部圏域の地域活力を高めるため、圏域の団体や行政が一体となり「アウトドアスポーツの楽園」と呼ばれる環境や豊かな自然から育まれる豊富な食材等地域資源を活用した魅力あるイベント等を開催し地域ブランド力の向上と交流人口の増大を図ります。＜南部＞</p> <p>○「四国の右下・まけまけマルシェ」等による集客数 ②⑤→③①40,000人</p> <p>○トップアスリートプロデュースによる「四国の右下・アウトドアスポーツ」参加者数 ②⑤→③①800人</p> <p>○着地型旅行商品による入り込み客数の拡大 ②⑤→③①3,500人</p> <p>○新たな雇用拡大（累計） ②⑤→③①3人</p> <p>○「南阿波グルメ」の販売拡大 ②⑤15,000千円→③①50,000千円</p>	推進 35,000人 200人 500人 — 25,000千円	35,000人 400人 1,500人 1人 35,000千円	40,000人 600人 2,500人 2人 40,000千円	40,000人 800人 3,500人 3人 50,000千円
<p>● 本県を訪れる観光客にとって、きめ細かな観光情報の提供や案内、県民との交流など、心こもった“おもてなし”により、安心快適に徳島旅行を楽しんでいただき、リピーター来県にも繋がるよう、県内全体のおもてなしマインド向上のための啓発に努めます。＜商工＞</p> <p>○「ボランティアガイドおもてなし大賞（仮称）」の創設・顕彰 ②⑦創設・顕彰</p>	創設・顕彰			
<p>● 本県の優れた自然景観等を有する自然公園などについて、自然景観等の保護や利用の増進を図るため、施設整備を行います。（再掲）＜県民＞</p> <p>○鳴門公園施設内での多言語表記の観光案内板設置率 ②⑤26%→③①100%</p> <p>○登山道と四国のみちの再整備ルート数 ②⑤12ルート→③①15ルート</p>	推進 26% 13ルート	50% 14ルート	75% 14ルート	100% 15ルート
<p>● 橋梁など道路施設に対する理解を深めるため、吉野川に架かる橋梁を「橋の博物館」としてPRするとともに、観光資源として活用します。＜県土＞</p> <p>○ホームページのリニューアル ②⑤→②⑦構築</p> <p>○橋梁史の作成 ②⑤→②⑦作成</p> <p>○橋梁イベントの開催 ②⑤→②⑦～③①年間1回</p>	推進 1回	1回	1回	1回

主要事業実施工程表（7-2 湧き上がる「にぎわいと感動」渦の創造）

主要施策・主要事業の概要・数値目標	工程（年度別事業計画）				
	H27	H28	H29	H30	
2 四季を通じたにぎわいの創出（長期：3，中期：V-1④）					
主要指標 ○「マチ★アソビ」年間参加者数 16万人					
● 全国はもとより海外からも集客力があるアニメイベント「マチ★アソビ」の開催により、徳島の魅力を全世界へ発信し、交流を促進します。＜商工＞ ○「マチ★アソビ」年間参加者数 ⑲11.3万人→⑳16万人 ○海外PRイベント年間参加者数 ⑲→⑳10,000人以上	開催				→
	13万人 6千人	14万人 7千人	15万人 8千人	16万人 10千人	
● 「とくしまマラソン」の開催により、県民のスポーツ振興や青少年の健全育成を図るとともに、本県の魅力や県民挙げての「おもてなしの心」を全国に情報発信できる本大会の規模を拡大し、更なるにぎわいづくりを実現します。 ＜商工＞ ○エントリー数 ⑲1万人→⑳2万人以上	推進				→
		1.6万人	1.8万人	2万人	
● 「夏の阿波おどり」、春と秋の「阿波おどり」の魅力向上はもとより、新たに「冬の阿波おどり」による誘客に取り組むとともに、有名連の練習風景を観光資源としてPRするなど、阿波おどりの通年活用により、本県を訪れる観光客の周遊と宿泊を促進します。＜商工＞ ○年間の延べ宿泊者数（再掲） ⑲226万人→⑳300万人	推進				→
	260万人	270万人	285万人	300万人	
● 「渦の道」、「あすたむらんど徳島」、「美馬野外交流の郷」などの交流拠点の魅力を高めるとともに、交流拠点を活用したイベントの充実を図り、また、来場者へのアンケートを実施し、意見を踏まえた取組みやサービスを提供することで満足度の向上を図ります。＜商工＞ ○「渦の道」、「あすたむらんど徳島」及び「美馬野外交流の郷」の来場者数 ⑲93万人→⑳100万人	推進				→
	94万人	96万人	98万人	100万人	
● 「とくしまコンベンション誘致推進協議会」や「とくしまコンベンション支援ガイド」の活用に加え、大会誘致に向けた効果的な助成など本県ならではのコンベンションを提案することにより、コンベンション参加者数の増を目指します。＜商工＞ ○コンベンション（中四国規模以上）の参加者数 ⑲96,494人→⑳130,000人	推進				→
	115,000人	120,000人	125,000人	130,000人	

主要事業実施工程表（7-2 湧き上がる「にぎわいと感動」渦の創造）

主要施策・主要事業の概要・数値目標	工程（年度別事業計画）			
	H27	H28	H29	H30
<p>● 2019年から2021年にかけて開催される3大国際スポーツ大会の誘致に向けて県内の機運醸成を図るため、競技団体や関係機関との連携による大規模スポーツ大会（500人以上）の開催を誘致し、その定着を図ることにより、競技力の向上に取り組み、スポーツの交流を通じた活気あふれるスポーツ王国づくりを目指します。＜県民＞</p> <p>○大規模スポーツ大会の開催数</p> <p>②5大会→②7～③0年間4大会以上</p> <p>・競技ラフティング世界大会（2017年度開催）</p>	推進			
	4大会	4大会	4大会	4大会
<p>3 国際交流の推進（長期：3、中期：V-2）</p> <p>主要指標 ○とくしま外国人支援ネットワーク会員数 <u>330人</u></p>				
<p>● 相談窓口の充実、生活支援講座の開設、市町村等と連携した多言語による情報提供や、在県外国人に対する日本文化の紹介、災害時の通訳、生活相談への対応等を行う専門ボランティアの養成を行うとともに、ボランティア、支援団体、行政機関による外国人支援のためのネットワークを形成します。＜商工＞</p> <p>○とくしま外国人支援ネットワーク会員数</p> <p>②5162人→③0330人</p>	推進			
	220人	240人	300人	330人
<p>● 日本人住民の異文化理解の一層の向上を図るとともに、多様な主体による交流イベント等の開催を支援し、国際化による多文化共生を推進します。＜商工＞</p> <p>○国際理解支援講師派遣の件数</p> <p>②48件→③070件</p>	推進			
	55件	60件	65件	70件
<p>● 友好提携・友好交流先の地域と経済、文化、スポーツ、教育、観光等幅広い分野において、相互にメリットが享受できる国際交流を推進します。＜商工＞</p> <p>○ドイツ・ニーダーザクセン州との友好交流の推進</p> <p>○中国・湖南省との友好交流の推進</p> <p>○ブラジル・サンパウロ州に在住する本県出身者との交流の推進</p>	推進			

基本目標7 「大胆素敵・躍動とくしま」の実現

【重点戦略3】

世界に輝く！「あわ文化」の発信

主要事業実施工程表（7-3 世界に輝く！「あわ文化」の発信）

主要施策・主要事業の概要・数値目標	工程（年度別事業計画）			
	H27	H28	H29	H30
1 あわ文化の創造・発信（長期：3，中期：V-3）				
主要指標 ○阿波人形浄瑠璃公演等入場者数 35,000人以上				
●阿波人形浄瑠璃の一層の振興を図るため、伝統芸能を観光資源として活用し地域の活性化を促進するとともに、後継者育成や伝統芸能の保存・継承のための取組みを進めます。 また、「人形浄瑠璃街道連絡協議会」や関西広域連合と連携して、人形浄瑠璃関係団体の交流などの事業を実施するとともに、徳島ならではの魅力を広く発信します。 さらに、オリンピック・パラリンピック東京大会を見据え、徳島ならではの「文化プログラム」を創造し、関西が一体となって取り組む「関西文化プログラム」の1つとして展開することで、あわ文化が関西広域連合の文化施策を牽引します。<県民> ○阿波人形浄瑠璃公演等入場者数 <u>25</u> 34,676人 <u>→27~30年間35,000人以上</u>	推進			
	○「文化プログラム」の推進 <u>28~30</u> 推進 ○「 <u>関西文化プログラム</u> 」の展開 <u>27</u> 展開 ○全国規模のベートーヴェン「第九」演奏会を継続的に開催 <u>27</u> 推進	35,000人	35,000人	35,000人
●鳥居龍蔵博士の業績を国内外に発信することを目的に、鳥居博士の研究に関係する博物館や研究機関と連携して資料調査を進め、その成果を踏まえた展示や普及教育事業を行うために、関係機関とのネットワークを広げていきます。<教育> ○連携機関数（累計） <u>25</u> 7機関→ <u>30</u> 17機関	推進・情報発信			
	11機関	13機関	16機関	17機関
2 史跡・文化財の活用（長期：3，中期：V-3）				
主要指標 ○埋蔵文化財総合センター利用者数 9,300人				
●徳島県内出土の埋蔵文化財を蓄積している埋蔵文化財総合センターを文化財の公開・活用の拠点として整備し、地域活性化の核となり得る埋蔵文化財をはじめとした文化財の魅力、素晴らしさを発信していきます。<教育> ○埋蔵文化財総合センター利用者数 <u>25</u> 7,749人→ <u>30</u> 9,300人	推進			
	7,800人	8,000人	9,200人	9,300人

主要事業実施工程表（7-3 世界に輝く！「あわ文化」の発信）

主要施策・主要事業の概要・数値目標	工程（年度別事業計画）			
	H27	H28	H29	H30
<ul style="list-style-type: none"> ● 史跡と周辺の文化財をつなぎあわせて、各地の博物館・資料館等と連携しながら、文化財を活かした地域づくりを進めます。＜教育＞ <ul style="list-style-type: none"> ○文化財ボランティア活動人数（延べ人数） ②5 311人→②7～③0年間350人 	推進 350人	350人	350人	350人
<ul style="list-style-type: none"> ● 史跡・埋蔵文化財についての講演会・ウォーキングを開催し、県民の文化財保護意識を醸成するとともに、県民による文化財の活用を進めます。＜教育＞ <ul style="list-style-type: none"> ○史跡・埋蔵文化財保護関連行事参加人数 ②5 134人→③0年間350人 	推進 150人	150人	350人	350人
<ul style="list-style-type: none"> ● 国指定文化財を保全し、活用する取組みを推進するなかで、地域の活性化を図ります。＜教育＞ <ul style="list-style-type: none"> ○史跡等国指定・選定数（累計） （追加国指定・選定を含む） ②5 14件→③0 20件 	推進 16件	17件	19件	20件
<p>3 文化の担い手づくり（長期：3，中期：V-3）</p> <p>主要指標 ○文化の森総合公園文化施設入館者数 80万人</p>				
<ul style="list-style-type: none"> ● 文化の森総合公園文化施設において、民間との連携を図るなど魅力ある企画展やイベントの開催を通じ、広く県内外に向けて文化・芸術の感動や体験の場を提供します。＜教育＞ <ul style="list-style-type: none"> ○文化の森総合公園文化施設入館者数 ②5 669,282人→③0 80万人 ○文化の森総合公園文化施設等の売上総額 ②5 41,000千円→③0 110,000千円 	推進 67万人	68万人	80万人	80万人
<ul style="list-style-type: none"> ● あわ文化や近現代の優れた芸術作品に直接触れあう機会を設けるとともに、絵本の読み聞かせ講習や、史跡巡り、ワークショップ、古文書解説等の事業により、次代のあわ文化の担い手を育みます。＜県民・教育＞ <ul style="list-style-type: none"> ○文化の森文化施設普及事業の開催回数 ②5 265回→②7～③0年間270回以上 ○文学書道館等拠点となる文化施設での講座開催回数 ②5 47回→②7～③0年間50回以上 	推進 270回 50回	270回 50回	270回 50回	270回 50回
<ul style="list-style-type: none"> ● 児童生徒が身近に芸術文化に触れる機会を充実させるとともに、児童生徒を対象に、芸術文化分野での創作活動の支援や伝統芸能分野での担い手育成を行い、地域に根ざした文化の発信活動を支援します。＜教育＞ <ul style="list-style-type: none"> ○学校への芸術家等派遣事業に参加した児童生徒数 ②5 10,597人→②7～③0年間10,000人 	推進 10,000人	10,000人	10,000人	10,000人

主要事業実施工程表（7-3 世界に輝く！「あわ文化」の発信）

主要施策・主要事業の概要・数値目標	工程（年度別事業計画）			
	H27	H28	H29	H30
<ul style="list-style-type: none"> ● 音楽文化が息づくまちづくりを推進するため、全国初となる二度目の国民文化祭を契機に設立した、「とくしま記念オーケストラ（とくしま国民文化祭記念管弦楽団）」による本格的なコンサート等を開催し、一流の芸術文化を鑑賞・体験する機会を創出します。＜県民＞ <ul style="list-style-type: none"> ○コンサートの開催数 ②5 6回→②7～③0年間6回以上 	開催			→
	6回	6回	6回	6回
<ul style="list-style-type: none"> ● 文化遺産や芸術文化に関する「人材バンク」の登録を推進するなど、あわ文化教育の創造に取り組みます。＜教育＞ <ul style="list-style-type: none"> ○「人材バンク」登録者数 ②5 183人→②7～③0年間180人 				→
	180人	180人	180人	180人
<ul style="list-style-type: none"> ● 幅広く芸術文化の振興・発展に取り組んできた基盤を生かし、新たなファンを開拓してさらにすそ野を広げ、芸術文化が息づくまちづくりを推進します。＜県民＞ 	推進			→

基本目標7 「大胆素敵・躍動とくしま」の実現

【重点戦略4】

世界を体感！「スポーツ王国とくしま」の推進

主要事業実施工程表（7-4 世界を体感！「スポーツ王国とくしま」の推進）

主要施策・主要事業の概要・数値目標	工程（年度別事業計画）			
	H27	H28	H29	H30
1 スポーツの振興によるにぎわいづくり（長期：3，中期：V-4）				
<p>主要指標</p> <p>○「関西マスターズスポーツフェスティバル」県内大会年間参加者数 15,000人</p>				
<p>● 2019年から2021年にかけて開催される3大国際スポーツ大会の「ラグビーワールドカップ」、「東京オリンピック・パラリンピック」のキャンプ地の積極的な誘致活動を展開するとともに、競技会場が決まった「関西ワールドマスターズゲームズ2021」の成功に向け、関西全域における生涯スポーツの機運醸成を図るため、「関西マスターズスポーツフェスティバル」を積極的に推進します。また、誘致を見据え、鳴門・大塚スポーツパーク（鳴門総合運動公園）等の施設の充実を図るとともに、外国人旅行者等の受入環境を整えます。<県民・県土・教育></p> <p>○「関西マスターズスポーツフェスティバル」 県内大会年間参加者数 ⑲→⑳15,000人</p> <p>○キャンプ地及び競技会場の誘致決定件数（累計） ⑲→⑳3件</p> <p>○オロナミンC球場（野球場）照明塔の改築 ⑳完了</p> <p>○ソイジョイ武道館（武道館）空調設備の設置 ⑲完了</p> <p>○アミノバリューホール（体育館）放送設備の改修及び専用器具の整備 ⑳完了</p> <p>○県立中央武道館空調設備の設置及び受電設備の改修 ⑳完了</p> <p>○JABANKちょきんぎょプール(50mプール)の改修 ⑳完了</p> <p>○徳島科学技術高校アーチェリー・ウエイトリフティング・弓道場の改築 ⑳完了</p> <p>○公園案内板の多言語表記 ⑳完了</p>	推進			
	<p>○大規模スポーツ大会の開催数 ⑲5大会→⑳年間4大会以上 ・競技ラフティング世界大会（2017年度開催）</p>	4大会	4大会	4大会

主要事業実施工程表（7-4 世界を体感！「スポーツ王国とくしま」の推進）

主要施策・主要事業の概要・数値目標	工程（年度別事業計画）			
	H27	H28	H29	H30
<ul style="list-style-type: none"> ● 徳島ヴォルティスを通じて、次世代を担う子ども達にプロスポーツのすばらしさを体験してもらうとともに、スタジアムへの来場を促進する取組みを行い、県内にぎわいの創出を図ります。＜商工＞ <ul style="list-style-type: none"> ○小中高生招待者数 <ul style="list-style-type: none"> ㉕867人→㉗2,600人 	推進			→
	900人	1,000人	2,500人	2,600人
<ul style="list-style-type: none"> ● 市町村等と連携協力し、プロスポーツを活用したスタジアムのにぎわい創出や、本県を全国にPRする施策を展開します。＜商工＞ <ul style="list-style-type: none"> ○徳島インディゴソックスホームゲーム招待者数 <ul style="list-style-type: none"> ㉕812人→㉗1,000人 	推進			→
	900人	950人	980人	1,000人
<p>2 競技力向上対策の推進（長期：3、中期：V-4）</p> <p>主要指標 ○国民体育大会天皇杯順位 30位台</p>				
<ul style="list-style-type: none"> ● 本県の競技力向上のため、企業や大学が実施するスポーツ選手の強化・育成事業に対する支援を行います。また、県出身者が全国大会や国際大会で活躍ができるよう、ジュニア期から優れた素質を有する競技者を発掘し、トップレベルの競技者へと育てる「一貫指導システム」の構築と「トップ指導者の養成」を継続的に支援するとともに、競技スポーツの重点強化による成果志向型の選手強化を図ります。＜県民＞ <ul style="list-style-type: none"> ○国民体育大会天皇杯順位 <ul style="list-style-type: none"> ㉕47位→㉗～㉙毎年30位台 ○新たな支援制度の創設 <ul style="list-style-type: none"> ㉗創設 	推進			→
	30位台	30位台	30位台	30位台
<ul style="list-style-type: none"> ● 有力選手を特定の高校へ集め、指導体制を整備するとともに、中学校、高校及び各競技団体等関係機関の三者間での連携強化を進めるなど、競技力向上のための基盤強化を図ります。また、早い段階での有力選手の発掘・育成を進めるため、活躍が期待できる競技を選考した上で中学校段階での指導体制強化を図ります。（再掲）＜教育＞ <ul style="list-style-type: none"> ○全国高等学校総合体育大会の入賞（団体・個人）数 <ul style="list-style-type: none"> ㉕11団体・個人→㉗22団体・個人 ○全国中学校体育大会等の入賞（団体・個人）数 <ul style="list-style-type: none"> ㉕9団体・個人→㉗13団体・個人 	推進			→
	17団体・個人	18団体・個人	20団体・個人	22団体・個人
	10団体・個人	11団体・個人	12団体・個人	13団体・個人
<ul style="list-style-type: none"> ● 平成24年度に開校した鳴門渦潮高校「スポーツ科学科」の充実した施設・設備を活用し、スポーツの拠点校としてより高度で質の高いスポーツ教育を行い、本県スポーツ科学の普及・振興を図ります。（再掲）＜教育＞ <ul style="list-style-type: none"> ○徳島県高等学校総合体育大会等での鳴門渦潮高校の優勝種目数 <ul style="list-style-type: none"> ㉕1種目→㉗8種目 	推進			→
	5種目	6種目	7種目	8種目

主要事業実施工程表（7-4 世界を体感！「スポーツ王国とくしま」の推進）

主要施策・主要事業の概要・数値目標	工程（年度別事業計画）				
	H27	H28	H29	H30	
3 生涯スポーツの推進（長期：3、中期：V-4）					
主要指標 ○総合型地域スポーツクラブの会員数 12,000人					
<ul style="list-style-type: none"> ●「総合型地域スポーツクラブ」の創設・育成を支援するとともに、<u>未設立町への働きかけを更に強化し、</u>スポーツを活用した健康づくりの体制を整備し、みんなが楽しめる生涯スポーツの普及を図ります。 また、県南地域における生涯スポーツの拠点づくりのため、運動公園等の整備を推進します。＜県民・県土＞ ○総合型地域スポーツクラブの会員数 ②58,640人→③012,000人 ○南部健康運動公園の整備 ②0陸上競技場の着工 ○橋港小勝・後戸地区の緑地整備 （スポーツ・レクリエーション振興ゾーン） ②5整備中→③0ソフトボール場の3面供用 	推進				→
	10,300人	11,100人	12,000人	12,000人	
	<ul style="list-style-type: none"> ●「する」「観る」「支える」など多様なスポーツへの取組みを促進し、運動習慣の確立やスポーツ推進の機運を高めるため、誰もが楽しめるスポーツイベントへの助成や情報発信などを行い、県民のスポーツ参加機会の拡充を図ります。＜県民＞ ○イベント等助成数 ②526件→②7～③0毎年20件以上 	推進			
20件		20件	20件	20件	
<ul style="list-style-type: none"> ●健康や環境にも好影響をもたらす自転車を活用したサイクリングスポーツの普及を図る「自転車でつながる人・まちづくりプロジェクト」を推進し、自転車利用を計画的かつ体系的に推進して、サイクリングスポーツを通じて新しい魅力を創出します。＜県民＞ 	推進				→
4 障がい者スポーツの推進（長期：3、中期：I-3②）					
主要指標 ○障がい者トップアスリート講演会実施回数 10回					
<ul style="list-style-type: none"> ●県内小、中、高、特別支援学校において「障がい者トップアスリートによる講演会」を開催し、障がい者スポーツの素晴らしさを伝え、その理解を深めることにより、徳島から2020年東京パラリンピックの気運の醸成を図ります。（再掲）＜保健＞ ○障がい者トップアスリート講演会実施回数 ②51→②7～③0年間10回 	推進				→
	10回	10回	10回	10回	
<ul style="list-style-type: none"> ●国際大会や全国大会で活躍が期待される障がい者スポーツ選手を支援し、本県からパラリンピック及びデフリンピックの出場選手を輩出することにより、障がい者の自立と社会参加への更なる意欲の向上と県民理解の一層の推進を図ります。（再掲）＜保健＞ ○パラリンピック等育成強化選手数 ②51→②7～③0年間3人 	推進				→
	3人	3人	3人	3人	

基本目標7 「大胆素敵・躍動とくしま」の実現

【重点戦略5】

一歩先の未来へ！「とくしま新魅力」の発信

主要事業実施工程表（7-5 一歩先の未来へ！「とくしま新魅力」の発信）

主要施策・主要事業の概要・数値目標	工程（年度別事業計画）			
	H27	H28	H29	H30
1 4K先進地とくしまの推進（長期：3，中期：V-5③）				
<p>主要指標 ○4K8K関連企業（者）数 <u>16社（者）</u></p>				
<p>●スーパーハイビジョン（4K8K）の先進地徳島を国内外へ発信するとともに、優れた映像クリエイターを徳島へ集積させるため、「4Kエリア試験放送」や「4K映像コンテスト」を行います。</p> <p>また、大鳴門橋架橋記念館を改修し、4K映像を上映できる「360度4Kシアター」等を整備します。（再掲）</p> <p><県民・商工></p> <p>○4K8K関連企業（者）数 ②5 2社（者）→③0 16社（者）</p> <p>○「次世代プロジェクションマッピング」の創造 ②7 実施</p> <p>○ケーブルテレビによる4Kエリア試験放送の実施 ②7 実施</p> <p>○4Kアワードの開催 ②7 開催・②8～継続</p> <p>○大鳴門橋架橋記念館の年間入場者数 ②7 8.8万人→②9 改修・③0 11.5万人</p> <p>○大鳴門橋架橋記念館等の年間利用料収入 ②7 4,200万円→②9 改修・③0 6,300万円</p>	推進			
	4社	6社	14社	16社
<p>●徳島県が打ち出した共通コンセプト「vs東京」の実践に向けて、その情報発信の核として、豊かな自然や文化の魅力から、多くのクリエイターを惹きつけるという本県の存在感を打ち出すために、世界の映像クリエイターにとって魅力のある地域となることを目指した「実践の場」として、「徳島国際短編映画祭」を開催します。<政策></p> <p>○「徳島国際短編映画祭」の開催 ②7 開催</p>	開催	継続		
<p>●映像表現に新たな要素を加えて、徳島発祥の新しいコンテンツを生み出し、創造性を刺激するイベントとして情報発信することで、国内外からの観光誘客を促進します。</p> <p><政策></p> <p>○映像融合イベント来場者数（再掲） ②5 一 →③0 2,000人</p>	推進			
	1,500人	2,000人	2,000人	

主要事業実施工程表（7-5 一歩先の未来へ！「とくしま新魅力」の発信）

主要施策・主要事業の概要・数値目標	工程（年度別事業計画）			
	H27	H28	H29	H30
2 「世界遺産」登録への挑戦（長期：3，中期：V-3）				
主要指標 ○国の世界遺産暫定一覧表への記載	記載			
<ul style="list-style-type: none"> ● 「四国八十八箇所霊場と遍路道」は「世界に誇る四国の財産」であり、この「かけがえのない文化資産」を全国に、さらには世界へ向けて発信し、人類共有の財産として将来の世代へ保存・継承していくため、四国他県や関係団体と連携して、世界遺産登録を目指した取組みを加速します。 <政策> ○国の世界遺産暫定一覧表[※]への記載 ㊸記載 ● 「世界三大潮流[※]」の一つに数えられ、渦の大きさは世界最大規模と言われる「鳴門の渦潮」の魅力を全国、そして世界へ向けて発信するとともに、人類共有の財産として保存・継承していくために、徳島県、兵庫県及び関係市・団体が連携して、世界遺産登録を目指した取組みを推進します。<政策> ○世界遺産登録に向けた調査研究の実施 ㊸文化的調査研究とりまとめ ● <u>第一次世界大戦当時、収容所側の人道的配慮からドイツ人捕虜の自主的な活動が許され、ベートーヴェンの「第九」全楽章アジア初演の地となるなど、交流と文化の華が開いた「板東俘虜収容所」における記録物である「板東俘虜収容所関係資料」の重要性を全国、世界へ発信していくために、徳島県と鳴門市が連携して、「板東俘虜収容所関係資料」のユネスコ「世界の記憶」（記憶遺産）への登録を目指した取組みを推進します。<教育> ○ユネスコ「世界の記憶」（記憶遺産）への登録申請 ㊸申請</u> 	記載	推進		
	調査研究とりまとめ	推進		
		準備		申請